

へるん先生傑作選

小泉八雲 朗読会

佐野史郎

脚本・朗読

山本恭司

音楽・構成

監修・講演
小泉凡

2025

8/23[土]

開場 14:30/開演 15:00

入場料
(全席指定)

<前売> 5,000円
<当日> 5,500円

会場

秋篠音楽堂

◆ 近鉄大和西大寺 駅 北口下車徒歩6分 ならファミリー6階

チケット販売

- 秋篠音楽堂 TEL: 0742-35-7070 (10:00 ~ 17:00)
- Confetti チケット販売 TEL: 050-3092-0051 (平日 10:00 ~ 17:00)
- 前売り販売: 6月20日(金) 10:00~



Confetti
チケット販売 QR



主催: 秋篠音楽堂運営協議会

協力: 近鉄アート館/㈱近鉄百貨店/ NPO 法人奈良芸術文化協会

後援: 在日アイランド商工会議所/島根県/松江市/奈良市/松江観光協会/小泉八雲記念館/NHK奈良放送局/奈良新聞社/ならどっとFM

■ お問い合わせ 秋篠音楽堂 0742-35-7070 (10:00~17:00)

写真: Koichi Morishima 題字: nanami nanasawa

朗読のしらべ

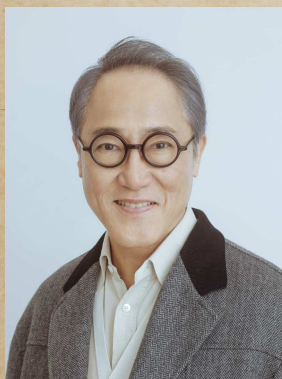


画像提供：小泉八雲記念館

小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン)

Rarcadio Hearn

1850 年、ギリシャのレフカダ島で生まれる。2 歳で父の故郷アイルランドに渡るがその後両親は離婚。大叔母の養育のもと幼少期をアイルランドで過ごし、その後イギリスで教育を受ける。19 歳のとき、単身アメリカに渡り新聞記者となる。1890 年 39 歳で来日。島根県松江市で英語教師の職を得、その後熊本、神戸、東京と移り住んだ。神戸時代、日本に帰化して小泉八雲となる。東京帝国大学と早稲田大学で英文字を講じるかたわら、執筆活動も精力的に行った。1904 年 9 月、54 年の生涯に幕を閉じる。代表作に『知られぬ日本の面影』『怪談』など多数。



佐野 史郎

Shiro Sano

俳優。島根県松江市出身。

1975 年 劇団シェイクスピア・シアターの創立に参加。1980 年 劇団状況劇場（唐十郎主宰）へ入団。退団後 1986 年林海象監督「夢るように眠りたい」で映画主演デビュー。1992 年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」（TBS）のマザコン男“冬彦”役が社会現象となる。

1999 年 映画「カラオケ」で初監督。2006 年、植田正治の写真をモンタージュした映像作品「つゆのひとしづく」（DVD/2006 年 / 東映アニメーション）を監督。カン・ジェギュ監督「マイウェイ」（2004）、アレクサンドル・ソクーロフ監督「太陽」（2005）など海外作品にも出演。チェコのイジ・バルタ監督によるラフカディオ・ハーン原作「雪女」（2014）では日本語版吹き替えに参加、プロデューサーとしても名を連ねる。

ギターの山本恭司とは松江南高校の同級生である。



小泉 凡

Bon Koizumi

東京都出身。

成城大学大学院で民俗学を専攻後、1987 年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。俳優・佐野史郎、ミュージシャン・山本恭司との「朗読のしらべ」に参画。「2022 年度全国日本学士会アカデミア賞（文化・社会部門）」を受賞。主著に『民俗学者・小泉八雲』（恒文社、1995 年）、『怪談四代記一八雲のいたずら』（講談社、2014 年）『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版、2023）ほか。小泉八雲曾孫。日本ペンクラブ会員。

小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。



山本 恭司

Kyoji Yamamoto

ミュージシャン。島根県松江市出身。

15 歳でギターをはじめ、18 歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。その頃より天才ギタリストとしての呼び声高く、在学中に BOWWOW のリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。

デビュー当時は、キッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、豪快で圧倒

的なサウンドとギターテクニックにより常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後、VOW WOW を結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約 4 年間活動。イギリスでチャートインするなど海外での評価も高く、海外有名アーティストへの影響力も大きい。

バンド活動以外にも、ギター・インストゥルメンタル・アルバムのリリースやジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッション、アコースティックの弾き語り、最近では俳優・佐野史郎との「朗読のしらべ」の音楽を担当するなど、他アーティストのプロデュースに至るまで、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。